

# なかの まつがおか

(題字 一樹 和彦)

第43号

12月20日  
2019年(令和元年)  
発行: 松が丘片山町会  
編集: 広報部

本紙は松が丘片山町会も  
紙のホームページから  
のホームページから  
ご覧いただけます。



松が丘北野神社の例大祭 (日)の両日にわたり、好  
が9月28日(土)、29日 天の中、にぎやかに行われ  
ました。



松が丘北野神社の例大祭 (日)の両日にわたり、好  
が9月28日(土)、29日 天の中、にぎやかに行われ  
ました。

## 一年に一度の例大祭 暑さにも負けず盛大に開催

射的などの夜店が開店し、  
舞台では、町内にお住いの  
ミスターゴールドによるマ  
ジックショー、長寿クラブ  
による民謡の奉納演芸が披  
露されました。

境内では、宮入の前後に  
ストリートダンス、キッズ  
ダンス、カラオケなどの奉  
納演芸が披露されました。  
特に宮入後に披露された、  
町内にお住まいの篠笛(し  
のぶえ)の名手による特別  
奉納演奏は、その音色に心  
洗われるひと時でした。

## 秋の文化部イベント 笑福亭羽光 落語会



11月10日(日)片山会館  
にて、町会文化部主催の  
「笑福亭羽光 落語会」が  
開催されました。  
当日はお子さんからお年  
初の演目は、狸が助けて  
笑福亭羽光二つ目さんの

配まで、幅広い年代の多く  
の方がご参集くださり、会  
館はほぼ満席状態でした。  
落語に先駆け、当町会内在  
住の謎のマジンラン ミス

ての演目「動物園」は、死  
んでしまった虎の代わりに、  
虎の皮を被って檻の中に入  
る仕事を引き受けた男のお  
話でした。面白みあふれ

もらっ  
た恩返  
しにサ  
イコロ  
に化け  
て八百  
長の手  
助けを  
する顛  
末を描  
いた古  
典落語  
「狸賽  
(たの  
さの)」。  
続い



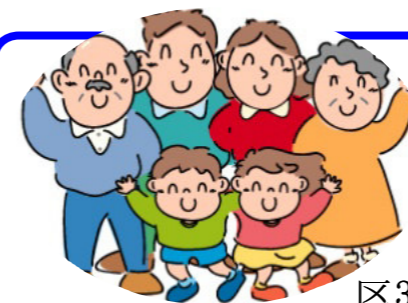
る軽妙な語り口に、小学生  
の観客も大笑い。  
粋で愉快な踊り「かっぱ  
れ」を披露いただいたとこ  
ろで、最後は羽光二つ目さ  
んの真骨頂、新作落語「俳  
優(はいゆう)」。一人で  
語る落語だからこそできる  
見事なサゲ(オチ)に客席  
からは思わず「ホーッ」と  
ため息が。



からじゃんけん勝ち抜い  
た方々へ、手ぬぐいのほか  
サイン入りの扇子や色紙が  
プレゼントされました。

### 1月以降の行事

- ◇令和2年
- 13日 新年福祉もちつき大会
- 26日 町会新年会
- ◇2月
- 2日 文化部行事 (内容未定)
- 16日 人形劇
- 23日 新入生祝いイベント



### 新規町会員を募集中です

松が丘片山町会で  
は住んでいる人々がお互いに挨拶し合う、  
安全で安心なまちづくりを目指して、さまざまな活動を行  
っています。現在町会に加入されているのは、松が丘地  
区3002世帯の40%弱です。ぜひ町会に加入して、松が丘片山  
ふるさとライフをお楽しみください。町会費はご家族単位で月額200円です。  
お問い合わせは町会長、山田晃 (TEL03-3386-2956) まで。



# 秋の町会日帰り旅行

## 枝豆収穫・活貝焼きバイキング・濃溝の滝観光

今年度の町会日帰り旅行は、10月19日(土)に長寿クラブと共催で実施されました。

「枝豆収穫&活貝焼きバイキング&濃溝の滝観光」は人気が高く、早々と定員近くのお申し込みがありました。寒い差の激しい気候の影響で体調を崩した方などのキャンセルも多く、最終的に34名の方が参加されました。

「ぜひいらしてください」との連絡をいただき、予定通りの実施となりました。

枝豆収穫は直前までの雨で畑がぬかるんでいるため、農家の方が事前収穫いただき、いたものをご用意いただき、畑の見学のみとなりました。

偶然、往路の休憩場所である海ほたるPAで、産地の農家の方が枝豆の試食PRをされており、品種の説明と試食の機会にも恵まれました。

代替バスを待つ間や新鮮な海鮮バイキングに舌鼓を打ちながら、参加者同士での交流も活発に行われ、親睦を深める旅となりました。

「楽団さだもと店」そばの枝豆畑で、バスが泥濘にはまり代替バスを待って、金谷の昼食場所へ向かうというアクシデントにも見舞われましたが、濃溝の滝観光など全行程を終え、松が丘に帰着しました。

ました。

パーキングエリアでの休憩後

見学に向かった

JAきみつ「味

19号の被害が心配される房総方面でしたが、幸い現地からは「今回の行程は被害がなかったの



## 令和元年度東京都都民安全推進本部長賞 感謝状受賞

10月29日、都議会議事堂1階都民ホールにて、当町会代表として山田町会長が、令和元年度東京都都民安全推進本部長賞感謝状を受賞しました。

今回は、表彰状が33人・21団体に、感謝状が28団体に贈呈されましたが、当町会の長年にわたる防犯活動が評価され、中野区で唯一感謝状を受賞しました。

都内では、様々な防犯ボランティア団体が、登下校時の子供の見守りや夜間パトロール等、地域の防犯活動に取り組んでおり、東京都では、このような活動を行っている団体や個人に対し、感謝の意を表すため、東京都都民安全推進本部長による表彰を行っています。



## 初期消火機器操法大会 優秀賞をダブル受賞

11月3日(日)秋晴れの中、令和元年度中野区町会連合会第38回初期消火機器操法大会が、白鷺せせらぎ公園で開催されました。

我が町会からは、スタンドパイプ操法とバケツリレーの2つの競技に1チームずつが参加しました。

2年前とはメンバーが大きく変わる今回の出場でしたが、消防署や消防団にご協力いただいた事前練習の甲斐あって、スタンドパイプ操法は20町会中上位10町会に贈られる優秀賞を、バケツリレーは21町会中上位



10町会に贈られる優秀賞を共に受賞しました。

山田町会長を始め、当町会競技役員、応援に駆け付けたメンバーと共に喜びを分かち合いました。

